

改定履歴表

文書名：モバイルITフォーラム4G技術調査報告書（SP編）

バージョン	改定年月日	改定内容	記事
第1.0版 (Ver.1.0)	平成17年8月		
第1.1版 (Ver.1.1)	平成18年4月	表紙 (Ver.1.0) を (Ver.1.1) に変更	版の記述
同上	同上	目次 「4.4.3. ローミング時間の短縮」 を 「4.4.3. ローミング接続時間の短縮」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	目次 「4.5.2. Semantic Webのプロトコルスタック」 を 「4.5.2. Semantic Webのレイヤモデル」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.1 参考文献 「(注) これらは調査時点でのURLである。」を追記	参考文献URLの調査時期の明確化
同上	同上	p.3 2.2.2.3. 「PCのキーボードに慣れている米国の携帯端末ユーザは、携帯電話のキー入力を嫌う傾向があるため多くの会社で研究開発が進められている。」 を 「加えて、携帯電話のテンキー入力よりもPCのキーボード入力に慣れているユーザのニーズに応えるために、多くの会社で研究開発が進められている。」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.6 2.5.4. 「ICカード」を「ICモジュール」に修正（2か所） 「SIMカード」を「SIM」に修正 「USIMカード」を「USIM」に修正（2か所）	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.6 2.5.4. 「 GSM (Grobal System for Mobile communications) 」 を	誤記訂正

		「 GSM (Global System for Mobile communications) 」 に修正	
同上	同上	p.7 2.6.4. 「ソフト処理では性能不足だがソフトで処理したい部分はFPGA」 を 「ソフト処理では性能不足な部分はFPGA」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.7 図2.2 図の入替え 「AAA」を削除、「Conve」を「Conversion Receiver」に修正、他	明確化のため英語版の図に合わせて
同上	同上	p.8 参考文献 「(注) これらは調査時点でのURLである。」を追記	参考文献URLの調査時期の明確化
同上	同上	p.9 3.2.1. (c) 「MultiProtocol」を「Multi Protocol」に修正 (単語間に空白を挿入)	誤記訂正
同上	同上	p.10 3.2.4. (b) 「事業者に依存しない統一されたQoSの実現」 を 「事業者に共通に適用される統一されたQoS基準の実現」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.10 3.2.4. 「(c) ハンドオーバーを考慮したQoSの確保」 を 「(c) QoSを考慮したハンドオーバー」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.10 3.5. 「アドホックネットワークにおける・・・」から 新段落となるように修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.11 3.6. 「メッセージ」を「メッセージ」に修正	誤記訂正
同上	同上	p.12 参考文献 「(注) これらは調査時点でのURLである。」を追記	参考文献URLの調査時期の明確化
同上	同上	p.13 4.1. 「放送基盤を通信形態も含めた通信基盤として加	明確化のため英語版の表記に合

		え、全体として」 を 「放送基盤も加え、全体として」 に修正	わせて旧版の表 記を修正した
同上	同上	p.13 4.2.2. 「WEP (Wireless Equivalent Privacy) 」 を 「WEP (Wired Equivalent Privacy) 」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.14 4.2.3. 「ICカード」を「ICモジュール」に修正	表記を英語版と 合わせる
同上	同上	p.15 図4.3 「図4.3ネットワークと連携した高精度測位の例 [2]」 を 「図4.3ネットワークと連携した高精度測位の例 [11]」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.15 4.4.1. 「携帯端末とホームネットワークとの連携などを 考えると、利用環境は整っていても実際には使え ない」 を 「携帯端末と各種ネットワークとの連携などを考 えると、設定はますます難しくなると考えられ、 従って利用環境は整っていても実際には使えな い」 に修正	明確化のため英 語版の表記に合 わせて旧版の表 記を修正した
同上	同上	p.15 4.4.3. 「4.4.3. ローミング時間の短縮」 を 「4.4.3. ローミング接続時間の短縮」 に修正	明確化のため英 語版の表記に合 わせて旧版の表 記を修正した
同上	同上	p.16 4.5.2. 「4.5.2. Semantic Webのプロトコルスタック」 を 「4.5.2. Semantic Webのレイヤモデル」 に修正	明確化のため英 語版の表記に合 わせて旧版の表 記を修正した
同上	同上	p.16 図4.5 「図4.5プロトコルスタック」 を 「図4.5Semantic Webレイヤモデル」	明確化のため英 語版の表記に合 わせて旧版の表 記を修正した

		に修正	
同上	同上	p.17 4.5.3. (b) 「OWL-S (Semantic Markup for Web Services)」 を 「OWL-S (Web Ontology Language for Services)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.17 4.5.3. (b) 「・Porting Thesaurii to RDF and OWL」 を 「・Porting Thesauri to RDF and OWL」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.18 4.6.2. 「カバレッジ」を「サービスエリア」に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.18 4.6.2. (2) 「この技術は、複数のアンテナを用い、異なるストリームに展開した送信信号を各々異なるアンテナから送信し、受信側で複数のアンテナで受信する」 の後に「(図4.8参照)」を追記	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.18 図4.8 「図4.8 MIMOチャネル(端末2アンテナ、基地局4アンテナの場合のストリーム)」 を 「図4.8 MIMOチャネル(端末2アンテナ、アクセスポイント4アンテナの場合のストリーム)」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.18 4.6.2. (2) 「符号化率=7/8」を「符号化率7/8」に修正 (「=」を削除)	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.19 4.6.2. (4) 「スイッチのON/OFFのみにより、」 を 「スイッチのONにより、」 に修正 (「/OFFのみ」を削除)	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.19 4.7.1. 「FLO (Forward Link Only: 米国) [47][47], 等がある。」	誤記訂正

		を 「FLO (Forward Link Only: 米国等) [47][48], 等がある。」 に修正	
同上	同上	p.20 4.7.2. (4) 「(4) バックワードコンパチビリティ」 を 「(4) バックワードコンパチビリティ」 に修正	表記ずれの訂正
同上	同上	p.20 4.7.3. 「DRM (Digital Right Management)」 を 「DRM (Digital Rights Management)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.21 参考文献 「[12] JEITAモバイル・ホームシステム協議会 <a href="http://mhsf.jeita.or.jp">http://mhsf.jeita.or.jp</a> 」 を 「[12] JEITAモバイル・ホームシステム協議会 <a href="http://mhsf.jeita.or.jp">http://mhsf.jeita.or.jp</a> 」 に修正	表記ずれの訂正
同上	同上	p.21 参考文献 「(注) これらは調査時点でのURLである。」を追記	参考文献URLの 調査時期の明確化
同上	同上	p.22 5.2. 「これまでの人と携帯端末とのインタフェースは テンキー入力 (ダイヤルキーも含む)、タッチパネル、 ペン入力といった、」 を 「これまでの人と携帯端末とのインタフェースは テンキー入力、タッチパネル、ペン入力といった、」 に修正	英語版と合わせて、 旧版の不要な 表記を削除した
同上	同上	p.22 5.2.1.2. 「VoiceXML」を「Voice XML」に修正 (単語間に空白を挿入)	表記の修正(空白 の追加)
同上	同上	p.24 5.2.1.7. 「VoiceXML」を「Voice XML」に修正 (単語間に空白を挿入)	表記の修正(空白 の追加)
同上	同上	p.24 5.2.2. 「VoiceXML、MultiModalXML」 を 「Voice XML、MultiModal XML」 に修正	表記の修正(空白 の追加)

		(単語間に空白を挿入)	
同上	同上	p.26 5.4.1. 「DVD (Digital Versatile Disc) に代表される」 を 「DVDに代表される」 に修正	(Digital Versatile Disc)の重複記載を訂正 英語版の表記に合わせて旧版の不要な表記を削除した
		p.28 図5.11 「プログラム移動」 を 「プログラムとデータを移動」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.30 参考文献 「(注) これらは調査時点でのURLである。」を追記	参考文献URLの調査時期の明確化
同上	同上	p.34 表6.1 「表6.1代表的なアプリケーションの必要帯域[11]」 を 「表6.1防災業務と災害発生時に必要となる代表的アプリケーションと緊急車両内で使用した場合に必要な推定無線帯域[11]」 に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.34 表6.1 「防災無線」を「防災業務」に修正	明確化のため英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.36 6.4.3. 「(POTs)」 を 「(POTS (Plain Old Telephone Service))」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.36 6.4.3. 「SIMカード」を「SIM」に修正	表記を英語版と合わせる
同上	同上	p.37 6.4.6. (5) 「USIMカード」を「USIM」に修正	表記を英語版と合わせる
同上	同上	p.37 参考文献	参考文献URLの調査時期の明確

		「(注) これらは調査時点でのURLである。」を追記	化
同上	同上	p.41 略語 「DRM (Digital Right Management)」 を 「DRM (Digital Rights Management)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.41 略語 「MPLS (MultiProtocol Label Switching)」 を 「MPLS (Multi Protocol Label Switching)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.41 略語 「OWL-S (Semantic Markup for Web Services)」 を 「OWL-S (Web Ontology Language for Services)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.42 略語 「POTs (Plain Old Telephone service)」 を 「POTS (Plain Old Telephone Service)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.42 略語 「S-DMB (Satellite-DMB)」 を 「S-DMB (Satellite-Digital Multimedia Broadcasting)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.42 略語 「T-DMB (Terrestrial Digital Mobile Broadcasting)」 を 「T-DMB (Terrestrial Digital Multimedia Broadcasting)」 に修正	誤記訂正
同上	同上	p.42 略語 「WEP (Wireless Equivalent Privacy)」 を 「WEP (Wired Equivalent Privacy)」 に修正	誤記訂正

同上	同上	索引 全面見直し	英語版の表記に合わせて旧版の不要な表記を、削除した  英語版の表記に合わせて旧版の表記を修正した
同上	同上	p.45 技術調査報告書 執筆者 「加々見 修 日本電信電話株式会社未来ねっと研究所ワイヤレスイノベーション研究部主任研究員」 を 「加々見 修 日本電信電話株式会社未来ねっと研究所ワイヤレスイノベーション研究部主幹研究員」 に修正	誤記訂正
同上	同上	奥付 「平成18年3月 第1.1版」を追加	版の変更の表記